

ごみを減らしましょう

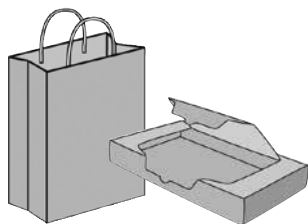
4月から「紙製容器包装」は「古紙類等」と同じ日に収集します

■紙製容器包装とは

商品が入っていた紙箱・紙袋、商品を包んであった包装紙



▲リサイクルマークが目印!



■出し方

※排出場所や出し方は変更ありません。

- 紙袋に入れるか、ひもで十文字に縛って出してください。
- 紙箱や紙袋についている布やビニール、汚れが落ちないもの、ラップやトイレットペーパーの芯などは、「家庭系燃えるごみ」で出してください。
- 収集日に各町内会で決められた資源ごみ集積所へ、午前7時から8時の間に出してください。
- 各町内会の収集日は「資源とごみのカレンダー」をご覧ください。

紙製容器包装の収集日が変わります!

【3月末まで】 「カン・ビン・ペットボトル」と同じ収集日

▼
【4月から】 「古紙類等」(新聞・雑誌・ダンボールなど)と同じ収集日

混ぜればごみ、分ければ資源!一人ひとりの心がけによるごみの減量にご協力をお願いします。

☎環境経済課 ☎388-1114

見る!知る!学ぶ! れきみ通信

笠松川湊の栄華を伝える 大船大工の職人技

歴史未来館では、1階の展示室に大きな木製の「大船」の模型を展示しています。



笠松町は、江戸時代から木曾川の港町「笠松湊」として栄えた地域です。昭和初期には20軒余の船頭問屋があり、約60艘の大船が伊勢湾岸の桑名や四日市、常滑などと物資の運搬で行き交いました。

この「大船」の模型は、笠松湊では最後の船大工である後藤 勝さん(北及)が、後世にその姿を残したいと息子二人と共に10年

越しで完成させ、町に寄贈していただいたものです。

忠実に再現された10分の1スケールの大船模型は、かつての港町の賑わいを彷彿とさせます。

歴史未来館では、4月3日(土)から5月16日(日)まで企画展「大空に翔る!ステンレス飛行機」を開催しています。



昭和初期に活躍した戦闘機などを、後藤さんが30分の1スケールで再現したステンレス模型飛行機を多数展示しています。

大船大工だった後藤さんが、大空を翔る戦闘機の姿に憧れ、その技術と経験をいかして制作した力作です。

ぜひ、ご来館ください。

☎歴史未来館 ☎388-0161